

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会
2019（令和元）年度定時社員総会 議事録

1. 開催日時：2019（令和元）年8月22日（木） 12:35～13:20
2. 場 所：北海道科学大学 4階 E405（第34回リハビリ工学カンファレンス in さっぽろ 第4会場）
（北海道札幌市手稲区前田七条15丁目4-1）
3. 社員総数 83名（議決権は、各1個）
出席社員数 63名（出席31名（内役員12名）、議決権行使書提出者数14、委任状提出者数18（議長17、松尾清美1））
※オブザーバー（協会正会員および学生会員）出席者数14名

出席理事（社員） 沖川悦三（会長（代表理事））、金井謙介（副会長）
石濱裕規、江原喜人、桂律也、剣持悟、青木（杉本）昌子、中村俊哉
麩澤孝、山形茂生

出席監事（社員） 相川孝訓、赤澤康史

出席理事 水澤二郎（副会長）、岡野善記、鈴木太
書記 深野栄子（協会事務局）

議決権行使書 13名
委任状：18（議長17、松尾清美1）名
欠席理事 なし
欠席監事 なし

議事録署名人
松尾清美（合同会社KT福祉環境研究所）
片石 任（一般財団法人啓成会 啓成会高等職業技術専門校）

4. 審議事項
第1号議案 2018年度事業報告（案） 【資料1】
第2号議案 2018年度決算報告（案）／監査報告 【資料2】 【資料3】
第3号議案 2019年度事業計画（案） 【資料4】
第4号議案 2019年度収支予算計画（案） 【資料5】
第5号議案 新役員の承認について 【資料6】

5. 社員総会資料
資料1 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2018年度事業報告（案）
資料2 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2018年度決算報告（案）
資料3 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2018年度監査報告
資料4 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2019年度事業計画（案）
資料5 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2019年度予算計画（案）
資料6 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 新役員の承認について

6. 議事の経過の概要及び議決の結果
総務統括担当の水澤理事より、本日の社員総会は定款第28条、29条により定数を満たしたので、有効に成立した旨（社員総会規則第2条第1項により、社員総会を招集した2019年8月1日時点での、社員数は83名。総会会場の参加者31名、議決権行使書による参加者14名、有効な委任状による参加者18名、合計63名を告げたのち、沖川会長が定款第27条の規定に基づき議長に就任し（定款第28条第4項 議長は、社員として表決に加わることはできない。）、開会の辞を述べた。

定款第31条第2項「議長及び出席した社員の中から選任された2名の議事録署名人は、前項の議事録に署名又は記名押印する。」より、出席の代議員より議事録署名人2名を選出した。

審議は密接に関係する内容の第1号議案と第2号議案、第3号議案と第4号議案は一括説明とし、議案ごとに個別に決議することとした。

定款28条第1項

「社員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、社員総数の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した社員の議決権の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の裁決するところによる。」

同条第2項

「前項の規定にかかわらず、次の決議は、社員総数の半数以上であって、社員総数の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。」

定款第29条第1項

「社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法により表決し、又は他の社員を代理人として表決を委任することができる。」

同条第2項

「前項の場合における前2条の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。」

第1号議案 2018年度事業報告に関する事項

議長より社員総会資料1に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認62票（出席代議員30票（議長除く）、議決権行使書14票、議長への委任状17票、出席代議員への委任の数1票）、非承認0、棄権0

◆質問・意見等（敬称略）

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料1】1ページ目冒頭の会長の言葉で、16行目「財政面では依然として単年度赤字が出る状況が続いています。」とある。なぜ、赤字の状況が続いているのか、説明してほしい。「従来からの事業は縮小せずに、出費を抑える努力を続けてきましたが」とあるが、赤字が継続的に発生しているのであれば、例えば、事業の縮小への検討についての見通しや、想定外の出費があって赤字になったことなどの具体的な説明をお願いしたい。

■回答：実際は第33回リハ工学カンファレンスの余剰金が多いので黒字だったが、それがなければ厳しい状況だった。それで単年度赤字と表現させていただいた。

事業にかかる経費をできるだけ節減するよう努めてきたが、消費税が8パーセントになった時も、輸送費通信費が値上げされ、他の経費もかさむような状況でも年会費の値上げをしなかったことが最大の原因だと考えている。2018年度においても、出費を抑えるため、各事業担当により努力を重ねており、協会誌編集経費削減や第33回リハ工学カンファレンスの黒字運営等）等により、財務改善が図れている。

昨年の総会でもお話しさせていただいたが、現状の事業を縮小せず、協会運営していく所存なので年会費の値上げを提案させていただき会員の皆様に承認を得て今年度の事業を進め始めているところである。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料1】4ページ目、8行目、「JASPA・・・第8回災害復興車椅子メンテナンス in 朝倉」に有志9名で参加したとある。JASPAから日本リハビリテーション工学協会「災害対策委員会」への支援依頼があったのかどうか具体的な説明をお願いしたい。有志9名とあったので、JASPAから当協会理事の誰かに連絡があっただけで回りの知り合いに声をかけて参加したイメージがあるので、説明をしてほしい。それと当協会として協力するにあたり、交通費等の支出があったかどうかの説明もお願いしたい。

■回答：JASPAの災害復興車椅子メンテナンス事業への参加は災害対策委員会としての活動である。したがってJASPAから情報提供はいただいているが、「支援依頼」という形ではないとお考えいただきたい。また、

基本的には災害対策委員会としての活動であるが、理事、監事、そして開催地域支部（今回は九州支部）に声かけする関係で「有志」という単語を使ったが、ご指摘いただいたので「有志」を削除する。また、交通費は協会より専門委員会経費として支出した。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料1】4ページ目、1行目「3）災害対策委員会の運営／RRT 隊員養成研修会」とあるが、RRT が略称なのでわからないし、RRT 隊員とはどういう人なのか説明をお願いしたい。

■回答：略称への説明が不足していて申し訳ない。RRT とはRapid Response Team の略で「初動対応チーム」のことである。RRT とは大規模災害発災直後から現地に入り、被災した地域 JRAT とともに被災状況やリハニーズ等の情報を収集し、東京本部との連携や現地対策本部の立ち上げ支援、地域 JRAT の支援などを行うチームのことである。そうした対応ができる人材育成を目的として、RRT 隊員養成研修が開催された。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料1】11行目、3）災害対策委員会の運営「JRAT 加盟各団体との協力関係の構築および JRAT 内における当協会の役割の精査を行った。」とあるが、具体的に説明をお願いしたい。

JRAT の Web サイトを見ると「団体組織図」には日本リハビリテーション工学協会が名前を連ねているが、JRAT の熊本などの報告書をもても当協会の活動について何も記載がない。JRAT に加盟しても意味がないのではないか。それと当協会が各団体ともどの程度連携しているのかも具体的にわからない。分科会・専門委員会理事および会長に、この点をお尋ねしたい。

■回答：当協会の JRAT 加盟は2017年度からであり、2016年の熊本地震時にはまだ加盟していなかったため、報告書に当協会の活動に関する記載はない。

JRAT 加盟について意味があるかどうかについては、実際に大規模災害が発生した際に当協会としてどのような役割があるのかが見えてくるものである。当協会が加盟後に発生した大規模災害としては昨年西日本豪雨が挙げられるが、加盟団体には毎日現地の状況報告が配信され、当協会単独では得られない情報を得ることができている。ただ、当協会の性質上、発災直後に役割があるものではないため、どの段階でどのような役割があるのを見極めている段階である。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料1】6ページ目、35行目「RESKO からの要請で・・・井上剛伸氏（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）に依頼した」とある。参加費、交通費など日本リハビリテーション工学協会として費用負担があったかどうかお聞きしたい。

■回答：2018年11月8日～10日に開催された RESKO 開催期間中、WHO-GATE に関するシンポジウムのシンポジストとして、RESJA から国際連携推進委員でもある国リハの井上剛伸氏に参加頂くことになっていた。協会より今年度については参加費、交通費は拠出していない。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

第2号議案 2018年度決算報告（案）／監査報告

議長より社員総会資料2に基づき、監事より資料3に基づきその説明がなされた。

前年比約100万円の経費削減をした。第33回リハ工学カンファレンスの余剰金が多く返還されたことにより、正味財産は70万円プラスとなった。仮受金約1200万円は任意団体から法人移行時の資金移動をする際のものであり、確認し適切な処理を行い財産に移行した。そのことにより前年度正味財産マイナス600万円に対し、今年度は正味財産プラス600万円となった。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認62票（出席代議員30票（議長除く）、議決権行使書14票、議長への委任状17票、出席代議員への委任の数1票）、非承認0、棄権0

◆質問・意見等（敬称略）

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料2】13 ページ目「販売費・一般管理費内訳書の中で、JRAT へ支払う年会費（昨年度は 42,000 円だったはず、できれば金額も確認したい。）が、どの部門に計上されているか、お聞きしたい。

■回答：今年度も 42,000 円で、専門委員会経費に計上している。

■回答：意見については、ご指摘の通りに修正する。なお、田中芳則氏より JAWS という団体がわからないとのご意見をいただいたが、「一般社団法人日本車椅子シーティング協会」である。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

第3号議案 2019年度事業計画（案）

議長より社員総会資料5に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 62 票（出席代議員 30 票（議長除く）、議決権行使書 14 票、議長への委任状 17 票、出席代議員への委任の数 1 票）、非承認 0、棄権 0

◆質問・意見等（敬称略）

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料4】17 ページ目、38 行目、3）災害対策委員会の運営と大規模災害時の協会の対応「これらの活動に際しては企業から災害対策活動協賛金を募ることで実施する」とある。

災害対策委員会の運営では日本リハビリテーション工学協会からの支出がゼロか最小限にとどめて、この協賛金で 2019 年度から運営していく方針であるかどうかをお聞きしたい。

■回答：その通りである。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

第4号議案 2019年度予算計画（案）

議長より指名され財務担当理事より社員総会資料6に基づき説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 62 票（出席代議員 30 票（議長除く）、議決権行使書 14 票、議長への委任状 17 票、出席代議員への委任の数 1 票）、非承認 0、棄権 0

◆質問・意見等（敬称略）

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料5】23 ページ目、収入の表、コード 1411 の入会金（今年度分）連結予算（2018 年度）110,000 円とありますが、1 人の入会金は 1,000 円なので 110 名の入会があったということか。とても信じがたい。詳細な説明をお願いしたい。

■回答：110,000 円は予算であり、決算ではない。110 名の入会を目指す努力目標になっている。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料5】23 ページ目、部門別支出の表、No. 85 受託事業の予算が空白になっているが、これはどういうことか。0「ゼロ」ではないのか。

■回答：システム上で表記なしとなっていた。次年度より「0」の表記をする。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料5】23 ページ目、形態別支出の表、No. 684 交通費・旅費が最も予算が多いが、経費削減に努力されている中、前年度に比べての圧縮率か、いくら少なくしているかをお教えいただきたい。また JRAT の年会費がいくらで仕分けのどの項目で計上されているかお聞きしたい。

■回答：今年度より、仕分け項目を変更した為、昨年度実績と単純比較ができない状況です。本件について

は前年度の総会でご案内している。ただし予算なので、担当理事からの予算要求額を精査しつつ、できるだけ反映しつつ予算作成した。JRATの年会費は42,000円で、専門委員会経費に計上している。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料5】23ページ目、ページにある表が不鮮明なので、協会誌への報告では印刷を改善し転載してほしい。

■回答：協会誌に掲載する際は鮮明なものに差し替える。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

◆質問（敬称略）

岩崎満男：会員数の減少、賛助会員の減少というイメージがある。分析等して今後どうしていくか考えているか？

■回答：定年退職された方が退会されることが目立っており、微減である。広報努力し、入会者を増やしていきたい。

◆質問（敬称略）

繁成剛：来年度の総会はいつどこで開催するか？

■回答：事業年度終了後3か月以内に東京か大阪で開催できるよう検討する。

第5号議案 役員の承認について

議長より社員総会資料6の通り、役員候補者選挙により選出された理事候補者14名、監事候補者2名の新役員承認について審議を行った。

定款第34条「理事及び監事並びに会計監査人は、社員総会の決議によって選任する。」及び定款第28条第3項「理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなくてはならない。」社員総会規則第5条「定款第28条に定める社員総会の決議は、原則として挙手によるものとする。」とあるが、決議数のカウントに時間を要し、出席代議員より改善してほしいとのご指摘をいただいたため、役員候補者選出の承認決議においては、受付で事前に議決権行使書を受け取り、選挙管理委員会がカウントし結果の報告をもって承認という形を取った。定款第28条については、議決権行使書を提出した時点で議決権を行使したとみなし（実質的な決議）、社員総会規則第5条については「原則として挙手」なので、「原則」に対しての「例外事項」と解釈し挙手はしない。

開票の結果、全理事・監事が賛成多数であり、あらためて拍手をもって承認された。この社員総会終了後、新旧理事が交代することとなる。

■理事候補（敬称略）

石濱裕規 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
植田瑞昌 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
江原喜人 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
岡野善記 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
桂 律也 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
剣持 悟 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
杉本昌子 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
鈴木 太 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
谷口公友 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
中村俊哉 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
西村 顕 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
水澤二郎 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
村田知之 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
森田千晶 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名

■監事候補（敬称略）

赤澤康史 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名
伊藤和幸 承認62名(出席代議員30名、議決権行使書14名、委任状18名)、非承認0名、棄権0名

■会計監査人

定款第33条第2項により、会計監査人は設置していないため候補者はなし。

◆質問・意見等（敬称略）

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

◆質問

田中芳則：総会資料について多くの意見をあげたが、かなりの時間を要したので、もっとチェック体制を強化していただきたい。

■回答：理事会でかなり努力して確認したが、更なる努力をする。

◆意見

河合俊宏：会員数減少を実感している。今回のリハ工学カンファレンス企業展示会場に人が来ない。声かけして見に行ってほしい。

■回答：声かけして、一緒に見に行ってみよう。

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問（敬称略）

上田喜敏：後援・協賛事業で終わっている事業もあるので、2018年度なのか不明です。

◆意見（敬称略）

上村数洋：年々、選挙時の理事候補者名簿を見る時に、同一企業・大学・病院・研究機構等から複数の立候補と、結果選任されることが増えているように感じています。学会スタート時より幅広い分野・人材による支援技術の普及に貢献等をめざしていたところが少し離れかけているようで不安を感じています。

◆意見（敬称略）

工藤俊輔：議決権行使書の第5号議案は「不承認の候補者に○を付けてください。」に変更してはどうでしょうか。事務的にもチェックがし易くなりミスも少なくなると思います。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2019（令和元）年度定時社員総会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（13時20分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に記名・押印する。

2019年8月22日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2019（令和元）年度定時社員総会

議 長 沖川 悦三 ㊟

議事録署名人 松尾 清美 ㊟

議事録署名人 片石 任 ㊟